

認知症の人も ふつうの人

伊藤隼也は今回、北海道のグループホーム「福寿荘」を訪問。若年性を始めとする認知症を患う人たちと共に暮らす武田純子さんに、認知症ケアの在り方やグループホームでの看護師の役割などについて伺いました。



vol.35
グループホーム
福寿荘

入居者と一緒にパズルを楽しむ武田さん（中央）。穏やかな時間が過ぎていく

徘徊しないから鍵をかけない
平穏に暮らすグループホーム

伊藤 先ほど施設を見学させてもらい

ましたが、入居者のみなさんが一般家庭のお茶の間にいるような感じで、確かに暮らしている様子がとても印象的でした。徘徊などに悩んでいる家族が、「こういう様子を見たらびっくりされるのではないか」と思いました。

武田 いつもこんな感じですよ。玄関に鍵をかけていませんが、外に出て行ってしまう入居者はいません。

武田 それはすごい。富士山のジグソーパズルに集中されている方や、僕たち取材スタッフにイスを勧めてくれる方もいて。母親を入居させている男性は、「入居後もすぐに打ち解けて、息子さんが会いに来ても」家に帰りたがらない」と話していました。

武田 入居者の中には行動の異常が起きた方もいますが、気持ちを整理していくと、落ち着かれるんですね。伊藤 武田さんの行っているケアについては、後ほどじっくり聞かせていただくとして。そもそもなぜこのようないくつかのグループホームを作らうと思われたのでしょうか。

介護に看護師のプライドは不要。
武田さんは、そう言い切る。
「人を、人として」みることに
看護も介護もない、のだから。

武田 日本看護協会のモデル事業で、グループホーム「ひまわり」をつくったのがきっかけです。平成8年です。

伊藤 介護老人保健施設に勤めていたときですよね。その、ひまわりでの経験が大きな転機に?

武田 そうなんです。実は、老健でも認知症の方のお世話をしていたのです

が、まったくこの人たちのことが理解できなかつた。なぜ? どうして? ナースの連続でした。それがグループホームと共に暮らすようになつて、気付いたんです。「この人たちは、ふつうの人。むしろ、私なんかより素晴らしいものを持つている人なんだ」と。

伊藤 そこに気付いた「何か」とは? **武田** こんなことがあります。ある入居者は、ひまわりに来る前は徘徊がひどく、靴から血がじむぐらい歩かれることもありました。冬の寒い日の方、その方が外に出ていったので、私も上着を羽織って、外に出ました。そうしたら「私はこういう日でも寒くないんですよ」と教えてくれたんですね。私は「寒いです」と答えると、「だったら、ひまわりに帰る」と。

伊藤 武田さんを気遣つたんですね。 **武田** ええ。ほかにもいっぱい教わることがありました。もちろん、自分の世界に入つてしまふときは、どんなに声をかけても無理ですが、通じるこ

ろはビックリ通じるんです。こういうことが生活を共にするとわかってくる。それで、ひまわりのようなグループホームを作らうと思つたんです。

介護度が5でも口から食事

トイレにも行つてもらう

伊藤 ここにはどういう方が入居者さ

れているのでしょうか。施設の概要も含め教えてください。

武田 福寿荘は3つの施設、5つのユ

ニットからなり、スタッフは37人。そ

のうち看護師は4人です。入居者の多くは若年性アルツハイマー型認知症の方で、レバー小体型認知症の方もいます。

伊藤 介護度の高い方の部屋も見学さ

せていただきましたが、口から食事を

とついたのを見て、改めて「こうい

うことって大切なな」と感じました。

武田 ここでは、食事だけでなく、ト

イレも最期まで行つてもらいます。介

護度5で、スタッフの支えなしでは立

ち上がりれない方でも、そこはちゃんとやつていてこうと。

伊藤 僕も数年前に寝たきりで認知機能が低下した母を取りましたが、排泄の問題はとても重要なと痛切に感じ

ました。

武田 本当にそうです。

伊藤 入居基準はありますか。

武田 認知症の方で、月々15万円ほど

の入居費が払える方であれば、どなたでも（笑）。

伊藤 いちばん長く入居されている方

はどれくらいですか?

武田 開設当時からいる方で、14年目

です。今年で100歳になられました。

伊藤 在宅に戻られる方もあると聞いています。

武田 ええ。たとえば、ご主人が若年性認知症になつたケースです。一度はこちらに入居されたのですが、奥さま

が「ふつうの老夫婦のように暮らしたい」と希望されて、ケアマネージャーをつけたり、在宅のネットワークを作

Profile

武田 純子さん

急性期の看護を経て、老年看護・看護管理から認知症のケアへと進む。平成12年に有閑会社設立し、認知症の人と共に歩むことを決意する。現在、3事業所のグループホームと認知症対応型デイサービスを運営し、終末期の看取りも行っている。

